

先の 4 月 18 日(日)に行われた新試験制度 3 回目となる平成 22 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、データベーススペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

### データベーススペシャリスト試験 (DB)

〔平成 22 年春期のデータベーススペシャリスト試験 統計情報〕

応募者	20,529 人
受験者	13,523 人
合格者	2,142 人
合格率	15.8%

データベーススペシャリスト試験は、旧テクニカルエンジニア(データベース)試験と同等のレベル、内容の試験です。

新試験制度で 2 回目の実施となる平成 22 年春期のデータベーススペシャリスト試験の応募者は、昨年の平成 21 年春期と比べ 2,000 人ほど増えました。合格率は過去最高だった昨年の 16.1% に比べると 0.3% の微減ですが、旧試験よりも高い合格率になっています。

まず始めに、新試験で従来の午前試験が分割された午前 と午前 の試験の分析結果をお知らせします。

〔午前 試験(高度試験の共通知識問題)〕

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、前回の試験と同様にすべて応用情報技術者試験(AP)から選ばれていました。過去問題の比率は 5 割弱で前回よりも減っています。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されています。今回の試験で 2 問出題された中分類は次のとおりですが、他の分類に比べて少々重要視されている分野といえます。

(2 問出題された中分類)

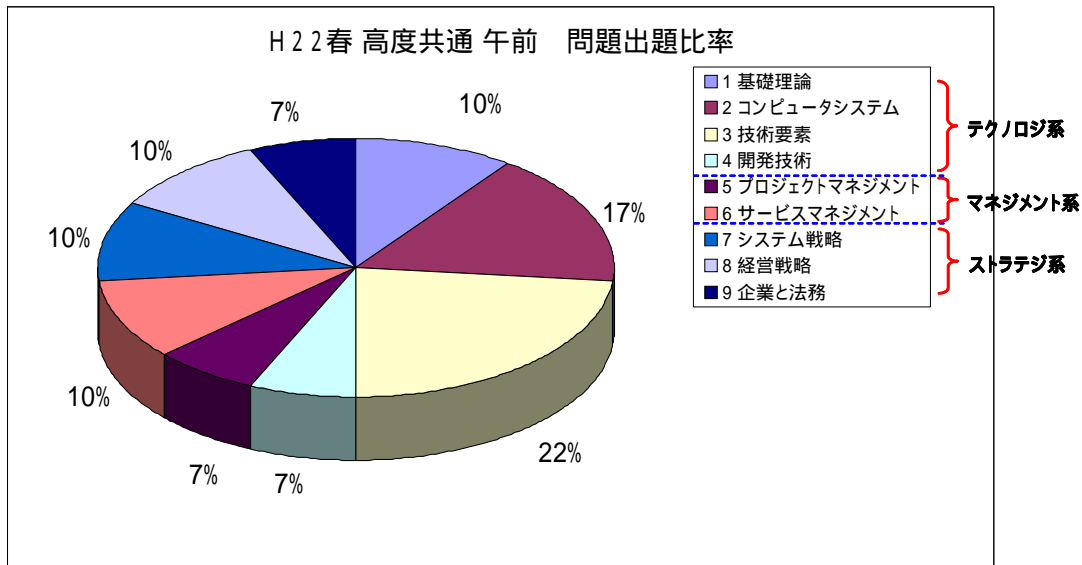
アルゴリズムとプログラミング、ソフトウェア、データベース、セキュリティ、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム戦略

- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

(新傾向問題)

- 問 3 (= AP 問 8) 妥当な XML 文書
- 問 9 (= AP 問 26) ヒューリスティック評価法
- 問 14 (= AP 問 42) LAN アナライザ
- 問 18 (= AP 問 51) プロジェクトライフサイクル
- 問 20 (= AP 問 54) ITIL v3 (問題管理プロセス)
- 問 26 (= AP 問 67) チャレンジ戦略
- 問 27 (= AP 問 69) 技術の S カーブ

平成 22 年春期の高度試験共通 午前 問題出題比率

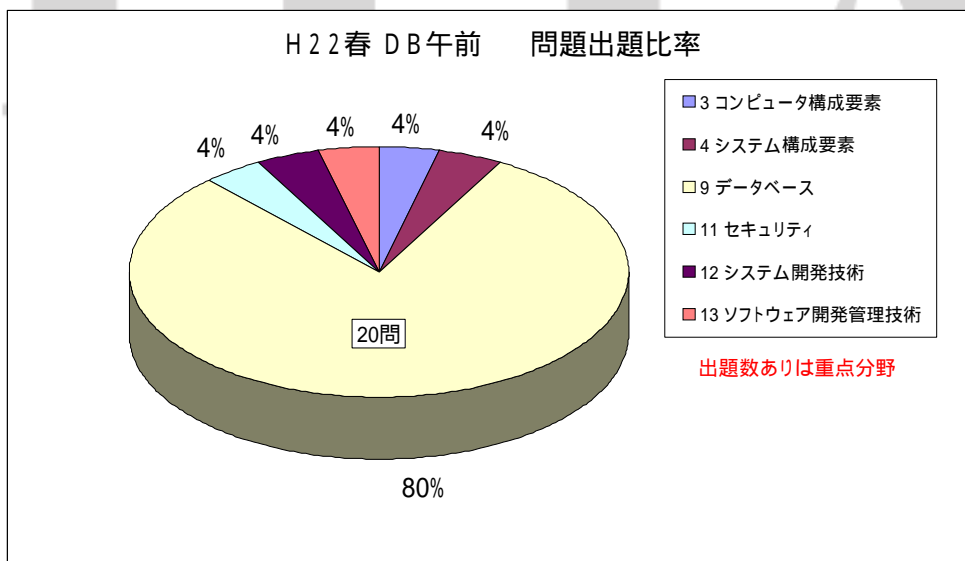


〔午前 の専門知識問題〕

午前 試験は基本的な問題が多く、データベースの専門知識の出題数は 20 問で前回平成 21 年春期試験の 14 問に比べて増えました。このうちの 12 問は過去に出題された問題でした。新傾向問題として次の問題を挙げることができます。

- 問 1 関係 R の要素を表す語
- 問 2 GRANT を用いて設定するアクセス権限
- 問 3 UNIQUE 制約の違反となる SQL 文
- 問 6 情報無損失分解した表
- 問 22 FC ( Fibre Channel ) の説明
- 問 24 共通フレーム 2007 “ システム方式の評価 ”

平成 22 年春期のデータベーススペシャリスト試験 午前 問題出題比率



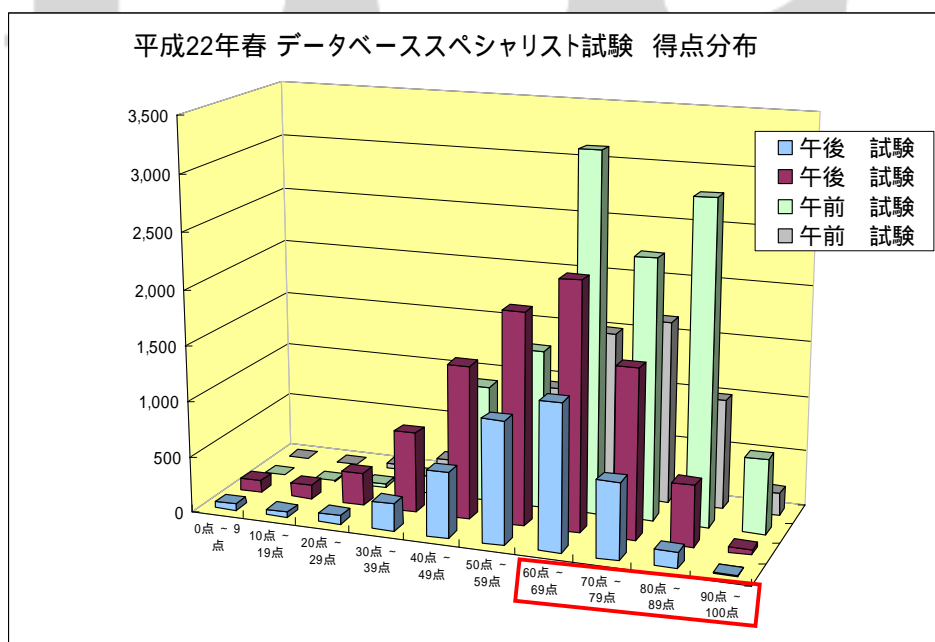
〔午後試験〕

- ・ 午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。新試験では出題数が 4 問から 3 問に減り、解答数も 3 問から 2 問に減りました。しかし、1 問あたりの設問数が増えていたので、受験者負担はあまり軽減されたとはいえません。
- ・ 出題内容の特徴としては、障害回復の運用系テーマの問題が 7 年ぶりに出題されました。
- ・ 少し難しい設問を含む問 1 と問 2 は、やや難問題といえます。
  - 問 1 データベースの基礎理論 (Web 模擬試験システム) **やや難**
  - 問 2 データベースの設計 (カード会社業務の追加・変更) **やや難**
  - 問 3 データベースの保守・運用 (通販会社の請求情報処理) **普通**
- ・ 午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。前回の試験では解答分量が多く 2 問ともやや難しい問題でしたが、今回は問題分量が少し減り、難易度も普通レベルの問題でした。
  - 問 1 販売管理システムのデータベースの実装 **やや易～普通**
  - 問 2 受注・入在庫・出荷業務の概念データモデル作成 **普通～やや難**

〔平成 22 年春 データベーススペシャリスト試験 スコア分布〕

得点	午前 試験	午前 試験	午後 試験	午後 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	3	1	115	59	
10 点 ~ 19 点	3	4	124	51	
20 点 ~ 29 点	46	36	293	80	
30 点 ~ 39 点	155	159	724	249	
40 点 ~ 49 点	452	1,051	1,378	590	
50 点 ~ 59 点	941	1,420	1,902	1,099	
60 点 ~ 69 点	1,495	3,217	2,219	1,307	
70 点 ~ 79 点	1,651	2,335	1,514	684	
80 点 ~ 89 点	994	2,885	551	142	
90 点 ~ 100 点	208	670	48	9	
計	5,948	11,778	8,868	4,270	2,142
対前試験比率		198.0%	75.3%	48.2%	50.2%
午前 免除者(概数)	7,575				

合格者数	2,142	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60 点以上合計	4,348	73.1%	2,206
午前 60 点以上合計	9,107	77.3%	6,965
午後 60 点以上合計	4,332	48.8%	2,190
午後 60 点以上合計	2,142	50.2%	0



新試験制度で春期の試験で午前 試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 試験の免除者は概算で 7,575 人(56.0%)おり、受験者の半数以上が午前 からの受験となりました。試験実施前は 6 割以上が免除者になると予測していましたので、実際の免除者は予想よりも少ない結果でした。

得点分布を分析してみると、高度系共通の午前 試験で基準点(60点)以上の人は 4,348 人(受験者の 73.1%)でした。また、午前 試験で基準点以上の人は 9,107 人(受験者の 77.3%)と高い率になっていますが、前回の午前 は 95.3%の人が 60 点以上取れる非常に易しい試験だったので、専門知識を増やしたことによって少し難しくした傾向が伺えます。他の高度試験でも同じような傾向があり、今後も午前 , 午前 試験ともに、もう少し難易度を上げると予想されます。

午後 で基準点(60点)以上取れた人は 48.8%で、前回の 45.9%に比べて 3%ほど上がっていますが、少し難しい設問があった割には正解率が高く出たと思われます。午後 で基準点(60点)以上取れた人は 50.2%で、前回の 45.3%よりも 5%ほど高くなっています。問題文が短めになり少し解答し易くなったことが影響していると思われます。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、次回試験の対策として、専門知識分野で「午前試験で出題される知識の理解度をまず上げ」、その次に、「午後試験で必要とされている知識を題材として、さらに深く学習する」のがよいでしょう。

#### 合否別の試験対策と通信教育、セミナーのご案内 (今回合格された人へ)

合格された方で今秋の情報セキュリティスペシャリスト、ネットワークスペシャリスト、システムアーキテクト、ITストラテジスト、ITサービスマネージャ試験を目指す方は、午前 試験が免除ですので、午前 の専門分野知識について、なるべく早く試験対策を始めましょう。まずは該当分野の応用情報技術者試験の問題を解くことをお勧めします。

午後 試験が論文となるシステムアーキテクト、ITストラテジスト、ITサービスマネージャ試験を受ける方は、新試験の内容や出題範囲をよく理解して学習することが必要です。論文試験で合格点の A 評価を取るためには第三者の添削が欠かせません。アイテックの通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックで出版している試験対策用の教科書(基礎テキスト)は新試験用にレベルごと分野ごとに新たに編集し直したものです。また、出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」、各試験別の予想問題集、本試験問題は新試験の出題内容を研究し改訂しています。これらすべての書籍が書店またはアイテックの Web ページ(<http://www.itec.jp/shop/>)でご購入いただけます。ぜひご利用下さい。

通信教育コースでは、高度系の午前 試験が免除になる方のために最適な教材をお得なセット価格でご提供する標準学習時間 3 か月の「**免除コース**」をお勧めします。高度専門知識テキスト、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験(2回)、論文添削(2回;午後 が論述試験のコース対象)の教材が含まれています。ぜひ、ご利用ください。

午前 試験に出題される IT 共通知識のレベル 3 も含めて、総合的に学習したい方には、基礎テキスト(分野別全 6 冊)、午前 対策用「合格への総まとめ」、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験(2回)、論文添削(2回;午後 が論述試験のコース対象)をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「**総合コース**」をお勧めします。

この他、テキストなどをすでにお持ちの方向けに、問題演習を中心に行うための午前ポイント集、最新問題集(予想問題集、本試験問題集)と模擬試験(2回)、論文添削(2回;午後 が論述試験のコース対象)をセットにした標準学習時間 4 か月の「**速習コース**」ほか、各コースの e ラーニングなどメニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

また、試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「**合格ゼミ**」は、試験対策のノウハ

ウや専門知識を効率的に理解できるセミナーと大変好評を頂いており、お勧めします。  
締切りの近いコース・セミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

今回残念ながら不合格だった人

まず、午前 の試験で 50 点に満たなかった人は、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。時間のない方は、「2010 合格への総まとめ 応用情報・高度 午前共通知識対策」で出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。基本事項を理解していない人や苦手な分野がある人は、アイテック刊行の新試験用のレベル 3 の教科書（通信教育教材）でじっくり学習することをお勧めします。

今回の午前 ，午前 試験の得点が 50 点～59 点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。また、午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は、まず午前 の専門知識の内容に関して、午後試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。

次に確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。新試験では選択範囲が広がったことで解答しやすくなるとも言えますので、チャンスが広がると考え、早めに対策を行いましょう。なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたいうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

通信教育コースでは、午前 試験免除対象の方のために最適な教材（高度専門知識・午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をお得なセット価格でご提供する標準学習時間 3 か月の「免除コース」をお勧めします。ぜひ、ご利用ください。

午前 試験に出題される IT 共通知識のレベル 3 も含めて、総合的に学習したい方には、基礎テキスト（分野別全 6 冊）、午前 対策用「合格への総まとめ」、専門知識テキスト、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「総合コース」をお勧めします。

この他、テキストなどをすでにお持ちの方向けに、問題演習を中心に行うための午前ポイント集、最新問題集（予想問題集、本試験問題集）と模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をセットにした標準学習時間 4 か月の「速習コース」ほか、各コースの e ラーニングなどメニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

また、試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「合格ゼミ」は、試験対策のノウハウや専門知識を効率的に理解できるセミナーと大変好評を頂いており、お勧めします。  
締切りの近いコース・セミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

受験対策のプロの講師の講義で効率的な学習を進めましょう。

**定員に近い申込者数のコースもあります。お早めにお申込みください。**

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

（以上）